

昭和48年度予算 総額8億9,286万円

一般会計

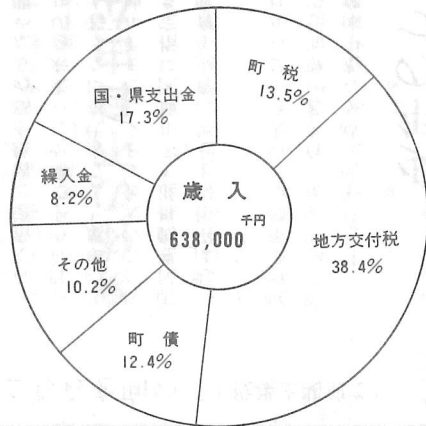
六億三千八百万円でスタート

基本構想に基づき計画的発展を!!

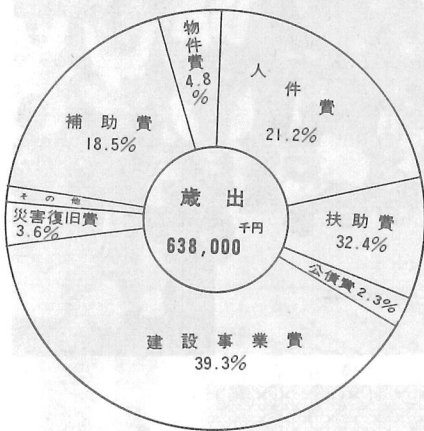
昭和四十八年町議会第一回定例会が三月七日から九日まで開催され、四十八年度予算、一般会計六億三千八百万円、国保特別会計一億五千六百九十八万九千九百九十円、食肉センター特別会計七千三百三十八万九千九百九十円、有線特別会計二千四百四十八万五千五百円、総額八億九千二百八十六万三千円が全員一致で可決されました。

四十八年度に対する町長の施政方針は、基本構想によるところの

(予算審議中の議会)



歳入の構成割合



歳出の性質別内訳

三カ年実施計画を基盤に、「産業の振興」、「住民福祉の向上」、「教育の振興」を主眼として実施。

第一の産業の振興については、基幹作物の選択的拡大を図り各種の共同協業組織の育成強化に重点を置きます。

第二の住民福祉の向上については、環境整備の保全、老人・児童福祉対策の強化などきめのこまかい施策を実施します。

第三の教育の振興については、教育内容の充実と質的向上に重点を置き、施設整備の増強を図ります。また、社会教育に於ては中央公民館の新設等と併せ既存公民館青年館の効果的な利用により青少年から高齢者まで広範囲な社会教育を行ないます。

以上が町長の四十八年度に対する施政ですが、予算の主な内容等をお知らせします。

昭和四十八年度一般会計歳入歳出予算額は六億三千八百万円で前年度に比較すると四一・九%、実額一億八千八百五十七万五千円の大増となった。これを歳入で見ると町税・財産収入などの自主財源の占める割合は二九・一%、一億八千五百九十三万五千円となり、また地方交付税・国庫支出金・町債などの依存財源は七〇・九%、四億五千二百六万五千円と依然として依存財源の比重が大きくなっています。

歳出では、中央公民館・庁舎建設・道路整備等の投資的経費の占める割合が四二・九%、二億七千三百六十万三千円であり、また人件費・物件費などの経常的経費は五七・一%、三億六千四百三十九万七千円となっています。

一般会計